

男女共同参画についての動画を視聴したい方は、  
「内閣府男女共同参画局公式YouTube」がおすすめです。

	題名	所要時間	制作年度	内容・企画意図 など
211	ハテナを分かち合い、カラフルを分かり合う	26	R7	職場には多様な価値観や背景を持つ従業員が集い、そこにはさまざまな人権課題が存在しています。本教材では「世代間ギャップ」「アンコンシャス・バイアス」「多様な性」「こころの病気」「部落差別」などをテーマに、互いの状況や抱える想いに目を向けること、そして気づいた違和感（＝ハテナ）を伝えあうことの大切さを示します。
210	北朝鮮よ、姉横田めぐみを帰せ！ ◎人権政策課おすすめ	90	R7	第53回差別のない明るい飯山市を築く市民大会の中での講演会をアイネットさんで録画・放送していただきました（DVDはイーストさんより寄贈）。講師は北朝鮮による拉致被害者連絡会代表、横田拓也さん（横田めぐみさんの弟）です。
209	吃音の理解と支援について 学校・職場の環境整備と変更・調整	60	R7	令和7年度飯山市人権同和・企業人権教育講座6回目をアイネットさんで録画・放送していただきました（DVDはイーストさんより寄贈）。講師は児童発達支援センターにじいろキッズライフ、長野圏域療育コーディネーター、言語聴覚士の安川健治さんです。
208	こころの病と向き合う	25	H13	誰でもかかる可能性があるこころの病。しかし、こうした病気に対する偏見は患者や家族を社会から阻害し、適切な治療に繋がらず、さらに病気が悪化する場合があります。こころの病に対する偏見、こころの病と人権について考えていきます。
207	破戒	119	R5	全国水平社創立100周年記念映画。今なお読み継がれている島崎藤村、不朽の名作。「なぜ自分の故郷を語れない。なぜ好きな人に気持ちを伝える事ができない。」と自らの出自に苦悩し、主人公丑松は最後にある決断をします。
206	許すな「えせ同和行為」 あなたの会社を不当な要求から守ろう	36	H17	「えせ同和行為」とは、同和問題を口実にして、企業・個人や官公署などに不当な利益や義務のないことを求める行為を指します。この行為は、同和問題に関する誤った認識を植え付け、偏見や差別を助長する要因となっており、同和問題の解決を阻害しています。えせ同和行為をはじめとする不当要求行為の事例を紹介し、その心構えと対策を学びます。

205	旅館甲子園	27	H29	<p>旅館甲子園とは、旅館で働く人にスポットを当て、普段は表に出ることがない様々な旅館の魅力をアピールする大会です。山ノ内町渋温泉にある「春蘭の宿さかえや」さんが出場し、その時の様子をまとめたDVDです。</p> <p>(さかえやさんは「さかえやフリースクール」「信州はがき人の集い」「掃除に学ぶ会」等をとおして、若手従業員の育成に尽力されています。)</p>
204	聴導犬はやわかりDVD パート2 ユーザー編	15	H24	聴導犬ユーザーのほのぼのとした体験談を中心に、聴導犬との生活や人生が変わった様子を紹介しています。
203	破戒	121	H24	被差別部落に生まれた小学校教師の苦悩を描いた、島崎藤村の名作文学の映画化。
202	長野県水平社創立 100年	30	R6	1922年、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と人間の尊厳と平等を謳い上げて、全国水平社は創立され、1924年には長野県水平社が創立されます。敗戦以降も引き継がれている水平社の精神が紹介されています。
201	日頃の言動から考える 職場のハラスメント	29	R3	職場において、日頃の何気ない言動がハラスメントにつながる可能性があります。職場で起こりがちなハラスメントやグレーゾーンについてポイントを解説し、ハラスメントが起こりにくい職場環境作りについて考えていきます。
200	言葉があるから ▲映文連アワード2024 優秀企画賞受賞 ▲令和5年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	31	R5	無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション（小さな攻撃性）」。言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。自覚なく加害者にならないため、属性にとらわれず、ありのままのその人と向き合うことの大切さを考えていきます。
199	あなたは大丈夫？ 考えよう！デートDV	30	R6	<p>デートDVは、中学生・高校生にとっても、深刻な問題です。パートナーとのやり取りが、犯罪に当たる、または犯罪に発展する可能性のある行動となることがあります。暴力を受けた場合、被害者は心身に大きな傷を受けます。デートDVは、被害者が一人で抱え込んでしまうケースが多く、当人同士だけでは解決することが困難な問題です。</p> <p>デートDVに関する正しい知識を身につけ、被害者にも加害者にもならず、パートナーと対等な関係を築いていくためにはどうすればよいかを考えていきます。</p>

198	あなたは大丈夫？ 考えよう！児童虐待	33	R 6	近年、全国の児童相談所における児童虐待に関する相談対応件数は増加し、令和4年度には約22万件と過去最多となっています(統計報告時)。 生命にかかわる重大な児童虐待事件も後を絶たず、児童虐待の防止は社会全体で取り組むべき喫緊の課題です。 こどもを取り巻く深刻な状況を改善するため、児童虐待防止に関する正しい知識を学んでいきます。
197	あなたは大丈夫？ 考えよう！いじめ 一人 で悩まずに相談しよう 🏆映文連アワード2024 ソーシャルコミュニケーション 部門優秀賞受賞	29	R 5	令和4年度の学校におけるいじめの認知件数が約68万件と過去最多(統計報告時)になるなど、こどもを取り巻く状況は深刻化しています。SNSなどのインターネット上でいじめが行われることがあり、周りから見えにくく、深刻ないじめへと発展するケースも少なくありません。 いじめをなくすためにはどうすればよいか、周囲の大人へのSOSの出し方や悩んだ時の相談窓口について、小学生編と中学生編から学んでいきます。
196	大切なひと 🏆映文連アワード2024 ソーシャルコミュニケーション 部門優秀賞受賞 🏆令和6年度教育映像祭 最優秀作品賞受賞	34	R 5	大学の友人が投稿した動画がバズったと聞き、見るとその動画とはかつての被差別部落を訪れ、過激な編集を施したものでした。幼い頃に面倒を見てくれた女性の家も映っており、動画の削除を友人に依頼します。しかし第三者によって削除したはずの動画がネット上で拡散されてしまいます。殺到する誹謗中傷に困り果て…
195	あなたの笑顔がくれた もの 周りから見えにくい障 がい・生きづらさ ◎貸出回数 第2位	37	R 4	主人公の麻友子は発達障害である幼馴染、オストメイト(人工肛門保有者)の女子高生等、周りからは見えにくい生きづらさを抱えている人との関わり合いによって、自分の思い込みに気づき、変わる決意をします。 外見で決めつけたり、「障がい者」や「ヤングケアラー」などカテゴリーで人を判断したりせず、一人ひとりが考えや感じ方も違う人間であるということを理解して向き合うことの大切さを学んでいきます。
194	今企業に求められる 「ビジネスと人権」への 対応	36	R 5	法務省人権擁護局と公益財団法人人権教育啓発推進センターが制作した「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報を紹介します。
193	性の多様性と LGBTQ+ 誰もが自分らしく生きる ために 🏆令和4年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	28	R 4	「性のあり方」はとても多様で、すべての人々に関わりがあるものです。本作品は、「性のあり方」についての基礎知識を解説しながら、性には様々な形があることや、性的マイノリティを取り巻く実状について考えていきます。

192	いわれなき誹謗中傷との闘い スマイリーキクチと考えるインターネットにおける人権 ㊦令和4年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	20	R4	実際に長年にわたって誹謗中傷の被害にあい、現在も被害を受けながらも、誹謗中傷と闘い続けているスマイリーキクチさん。 インターネットの誹謗中傷の現実と対策、そして人権的な課題について、実際の事例をもとに考えていきます。
191	ただいま、おかえり。感染症による差別のない長野県を目指して	55	R4	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染者等に対する誹謗中傷や差別的扱い等が課題となったため、県民の人権に対する正しい理解と認識を深め、差別や偏見のない社会の実現を目指します。
190	話せてよかった ㊦映文連アワード2021 優秀企画賞受賞 ㊦令和3年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	27	R2	夫婦や親子のような近く親しい関係性においては、相手を、そして自分自身を、一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあります。 本作では、日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。
189	アサーションで防ぐセクシュアル・ハラスメント	42	R3	相手の言動に、どのように対応すれば、ハラスメント問題に発展する前に食い止めることができるのでしょうか。リモートワークが進み、言葉によるコミュニケーションの巧拙が、組織運営にとってますます重要になっています。「自分も相手も大切に自己表現」(アサーション)に関する知見・ノウハウのエッセンスが詰まったコンテンツです。
188	尾木ママと一緒に考えよう！ぼくたちわたしたちの人権～長野県人権フェスティバル2020～	49	R2	「尾木ママ」こと尾木直樹さんが、4つの観点（「いじめと人権」「性の多様性」「新型コロナウイルスと人権」「人権アニメから学ぼう」）により、授業形式で行った講演をとおして、「こどもの人権」について学びます。
187	ハンセン病問題を知る元患者と家族の思い	35	R2	隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードが収録されています。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えます。
186	「違い」を「力」にするために 職場のコミュニケーションのヒント	26	R2	お互いの「違い」を理解するという段階から、「違い」をプラスにして、積極的に新しい価値に転換する時代になっています。「違い」を新しく「力」にしていくために、どんなコミュニケーションのあり方で実現していくのか、事例をとりあげながら考えます。

185	サラーマット あなたの言葉で ▲映文連アワード2020 ソーシャルコミュニケーション部門優秀賞受賞	36	R2	本作品の主人公は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダの様々な「違い」を「壁」だと捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分と異なる文化や考え方を持つミランダとの対立や交流を通して、新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。登場人物の変容に学び、SNSの活用も併せ、多文化共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。 ※「サラーマット」はタガログ語で「ありがとう」という意味です。
184	気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ⑤ お互いの本当が伝わる時 障がい者 ▲令和元年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	24	H30	雇用分野に関して改正障害者雇用促進法が、雇用以外の分野に関して障害者差別解消法がそれぞれ施行され、事業者・事業主に対して、障がいのある人に対する「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供義務」が定められました。 本作では、障がいのある人が、どんな場面で困っているのか、どんな「バリア」があるのか、どう取り除いていけばいいのか、また障がいのある人から発信することの重要性も示しています。
183	あした咲く ▲平成30年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	36	H29	本作品に描かれる独身会社員の妹と、専業主婦の姉。二人はそれぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えています。姉妹での対立や、父との対話、そして、地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づく様子が描かれています。 女性はもちろん、全ての人が「自分の花」をイキイキと咲かせることのできる多様性尊重社会。本作品は、その実現をめざすきっかけとなる人権啓発ドラマです。
182	企業活動に人権的視点を会社や地域の課題を解決するために	97	H31	企業は、顧客、取引先、株主、地域社会、従業員など、実に様々な人々と関わりながら活動をしています。多くの人から支えられている企業であるからこそ、これらの人々に誠実に対応していく必要があります。どのように取り組むことが企業内外の人のためになり、地域や環境のためになるのか、先進的な5つの取組事例を紹介しています。
181	障がいのある人と人権 誰もが住みよい社会をつくるために	33	H25	障がいのある人が直面する人権問題や心のバリアフリーの実現に向けた取組などを紹介し、「障がいのある人と人権」について考えていきます。

180	風の匂い ▲平成29年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	34	H28	スーパーマーケットで働く主人公の二人。一人には知的障がいがあります。子どもの頃はともに遊び、共に学ぶ大切な友だちでしたが、大人になった二人を隔てる健常者と障がい者という壁。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的課題でもある「合理的配慮」についても触れ、見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけとなる教材です。
179	企業活動に人権的視点を CSRで会社が変わる・社 会が変わる	103	H27	経済産業省中小企業庁の委託事業として、CSR（企業の社会的責任）や人権課題に関する企業の取組を啓発推進することを目的に、平成14年度から平成25年度に各地で開催した「『企業の社会的責任と人権』セミナー」において、CSRと人権課題に積極的に取り組まれている企業に発表いただいた実践事例の中から、企業にとって関心の高いテーマに関する事例をまとめました。
178	企業と人権 職場からつくる人権尊重 社会	40	H29	近年、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、さらには様々な差別に関わる問題などが社会の注目を集めています。こうした「人権問題」への対応を考えていきます。
177	認知症と向き合う ▲平成29年度教育映像祭 最優秀作品賞受賞	30	H29	認知症によくみられる症状、認知症の人の思いと家族の気持ちの変化、症状の理解、介護者の交流の大切さなどを描いています。認知症の人もその周囲の人も、よりよく生きていけるよう、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人の視点に立って、認知症への理解を深めていきます。
176	その質問、大丈夫？公正 な採用選考を考える ▲平成29年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	22	H29	就職面接などで、応募者本人の能力や適性に関係のない家族状況、住居状況、生活環境などの記入をさせたり、質問したりすることは就職差別へとつながります。 この作品では、採用を行う企業を対象に、就職差別につながる質問項目を提起しながら、その質問がなぜいけないのかを明確にしていきます。
175	わたしたちが伝えたい、 大切なこと	31	H28	「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品に基づいて制作。どの作品も、日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描いています。
174	インターネットと人権 加害者にも被害者にもな らないために	30	H28	インターネットに関する知識や意識が十分でないと、被害者になるだけでなく、意図せず加害者になることもあります。本DVDは、主に中高生やその保護者・教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策について考えていきます。

173	外国人と人権 違いを認め共に生きる	33	H28	外国人に関する人権問題を明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にすると人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考えていきます。
172	わっかカフェへようこそ ココロまじわるヨリドコ □ ♣平成28年度教育映像祭 優秀作品賞受賞 ◎貸出回数最多	35	H28	「人権」を自分の問題として、また、日常の問題として考える機会となるように、人権学習だけでなく、放課後子ども教室スタッフのための研修、家庭教育やボランティア活動など、幅広い場面で活用できるよう製作されています。
171	イマジネーション 想う つながる 一歩ふみ 出す ♣平成26年度教育映像祭 最優秀作品賞受賞	34	H28	本作品は、「人権」を自分の問題として、また、日常の問題として考える機会となるように制作されたものです。子どもの人権（いじめ問題）、同和問題（結婚差別）、障がい者の人権（発達障がい）の3つのエピソードが収録されており、幅広い場面で活用していただけます。プリントアウトして活用できる紙資料用データも含まれています。
170	多様性を尊重した職場の コミュニケーションと人 権 I ハラスメントを生 まないために ♣平成28年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	25	H28	多様化する職場や人間関係の中でちょっとしたコミュニケーションの不和によって様々なハラスメントの芽が発生します。ショートドラマとその振り返りをとおして、多様性を尊重したコミュニケーションとは何かを考えるドラマ教材です。
169	国際連合創設70周年記念 すべての人々の幸せを 願って 国際的視点から 考える人権	35	H27	世界人権宣言及び国際人権諸条約が自分たちの身近にある人権問題とどのように関わっているかを国際的な視点から考えるために、4つの人権課題とそれぞれに関連する条約を資料映像や写真、事例の再現ドラマなどで紹介しています。
168	ハンセン病問題 過去からの証言、未来へ の提言	56	H27	ハンセン病問題に焦点を当て、問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。一般の方を対象とした啓発現場においても使用できる有効なツールとなる映像「家族で考えるハンセン病」も併せて制作されています。
	家族で考えるハンセン病	20	H27	かつてハンセン病は「らい病」と呼ばれ、約90年にもわたり国の隔離政策がとられていました。病気に対する医学的な認識も法律も変わりましたが、いまだに偏見や差別が存在します。課題は何か考えていきます。
167	新・人権入門 ♣平成26年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	25	H26	職場でありがちな人権的なトラブルシーンを16話のショートドラマとして再現。視聴者とドラマの出演者が共に学び、悩み、考えることのできる教材です。

166	ヒューマン博士と考えるよう 差別から人権の確立へ	28	H27	差別の歴史をひもときながら、差別された人々の生産と労働、芸能や文化への関わりをヒューマン博士がわかりやすく解説していきます。今日の部落史観に基づく啓発資料として幅広く活用することができます。
165	ヒーロー 『無縁社会と家族』 生きること つながること	34	H27	近年、社会問題となっている「無縁社会」と呼ばれる社会状況に対し、何ができるのかを提起しています。地域で起こる身近な人権問題に対し傍観者としてではなく、主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを考えていきます。
164	同和問題 過去からの証言、未来への提言	61	H26	同和問題に関する基本的な知識、歴史的経緯、そして問題の本質について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。また、一般の方を対象とした、啓発現場においても使用できる有効なツールとなる映像(未来に向けて)も併せて制作されています。
	同和問題 未来に向けて	19	H26	同和問題でいまだに差別が残っているとされる「結婚差別」について取り上げています。同和問題に関する基本的な知識、歴史的経緯、そして問題の本質について考えていきます。
163	未来を拓く5つの扉 ▲映文連アワード2015 ソーシャルコミュニケーション部門優秀賞受賞	46	H26	全国中学生人権作文コンテスト入賞作品のなかから5編を紹介。中学生が作文の中でつぶやいている言葉に耳を傾けてみると、新しい明日への一歩につながっていくと感じられます。
162	あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権	30	H26	性的マイノリティについて、人権の視点から理解していくことをねらいとし、性的マイノリティ理解の入門編として制作されています。
161	あの空の向こうに ▲平成22年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	38	H21	普段何気なく使っているケータイやインターネットがある日突然「凶器」に変わってしまう。ケータイやインターネットによる人権侵害は、いつ、だれの身に起きても不思議ではない深刻な問題です。インターネット等の利用にあたっての人権意識・人権感覚の重要性や人と人とのふれあい・語り合いの大切さを訴え、こころの豊かなコミュニケーション社会をめざして制作された作品です。
160	人権は小さな気づきから	34	H26	身近な人権問題（いじめの問題、こどもの人権、障がい者の人権、風評被害、虐待問題、女性の人権、高齢者の人権、病気を患った人の人権）を題材に、考えていきます。

159	【アニメ】 勇気あるホタルととべないホタル	17	H25	羽がちぢんで生まれたために、とべないホタルがいました。彼を励まし、助ける仲間のホタルたち。足の不自由な妹のために、ホタル取りにやってきた姉と弟。ホタルと子どもたちとのふれあいを通して、やさしさと、思いやりの大切さを描いています。
158	部落の心を伝えたいシリーズ 心の窓を拓いて 明石 一朗	30	H25	同和教育と人権教育、差別解消の見通しを示しています。学校・家庭・地域コミュニティー・職場に元気と勇気を与えます。
157	自他尊重のコミュニケーション 相手の立場で考える	23	H25	職場で体験しがちなエピソードを切り取り、異なる立場の登場人物にスポットをあて、お互いを尊重するコミュニケーションの大切さ・自分も相手も大切にすることをコミュニケーションとはどんなものか考えていきます。
156	それぞれの立場それぞれのきもち 職場のダイバーシティと人権 ♣平成24年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	32	H24	日常の職場で起こりそうな出来事を取り上げ、年代や経験、価値観の異なるメンバーそれぞれがどのような思いを持っているかを描き、コミュニケーションの重要性やダイバーシティの考えに沿って、問題解決のヒントを示しています。
155	【アニメ】 めぐみ	25	H25	北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメです。「拉致という、自由を奪う行為を忘れないでください」というメッセージが込められています。
154	生活の中の人権	22	不明	日常生活の中にある様々な人権問題を登場人物の母と娘の行動の中から考えていきます。
153	人権のヒント地域編 「思い込み」から「思いやり」 ♣平成22年度教育映像祭 最優秀作品賞受賞	25	H22	街で喫茶店を営むママの所にさまざまな思いをいただいた人々が集まってきます。その交流の中から、「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していきます。
152	『破戒』のモデル 大江礒吉に学ぶ	30	H9	小説『破戒』は、長野県出身の明治の文豪、島崎藤村の代表作です。この小説の主人公のモデルである、被差別部落出身の大江礒吉の生き方を学びます。
151	誇りうる部落の歴史	30	H24	長野県、さらに東日本を中心に近世被差別部落の方の仕事・技術・文化を検証した成果に基づき、当時の主要な生産関係と社会生活の中で、被差別部落の方たちが重要な役割を担ってきた事実を知ることができます。
150	ソーテサワサワ 人間の価値はみな同じ	34	H24	言葉も文化も異なる日本で暮らすタンザニア出身のフィディアさん。外国人排除に対し「私たちみな同じ」という願いが込められています。

149	声を聞かせて ㊦平成21年度教育映像祭 最優秀作品賞受賞	40	H21	主人公は念願の携帯電話を買ってもらったが、様々な出来事がおきます。メール、学校裏サイト・掲示板の問題、同和問題、友情。本当の友達、そして本当のコミュニケーションとは、家族のきずなや命の大切さを考えていきます。
148	私の中の差別意識 部落差別問題から考える ㊦平成23年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	24	H23	あからさまな部落差別は影を潜めましたが、まだまだ結婚差別や就職差別などは残っています。この作品では、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのか、考えていきます。そして自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。
147	日常の人権Ⅱ気づきから 行動へ 外国人の人権・障害者 の人権・部落差別・ インターネットでの 人権侵害	23	H22	人が人として大切にされる権利。人権を考えるとなくよりよい社会を作ることはできません。人権感覚にうとい人の言葉や態度が、差別を生みます。そして人権侵害されて苦しんでいる人の心の痛みをわかってほしいことで、新たな人権侵害が起こります。日常生活の中で、いつの間にか身につけてしまった差別や偏見を見直していきます。
146	日常の人権Ⅰ気づきから 行動へ 女性の人権・子どもの 人権・高齢者の人権 ㊦平成22年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	23	H22	人が人として大切にされる権利。人権を考えるとなくよりよい社会を作ることはできません。人権感覚にうとい人の言葉や態度が、差別を生みます。そして人権侵害されて苦しんでいる人の心の痛みをわかってほしいことで、新たな人権侵害が起こります。日常生活の中で、いつの間にか身につけてしまった差別や偏見を見直していきます。
145	事例で考えるパワハラ 解決法 ② パワハラと解決技法	25	H22	職場を蝕むパワハラには迅速な対応が欠かせません。パワハラ等の兆候・訴えがあった場合の解決技法を解説します。
144	事例で考えるパワハラ 解決法 ① パワハラと熱血指導	23	H22	管理職として部下へ、当たり前前の指導をしているつもりが、もしパワハラだと言われたら？熱血指導部長、部長と見解の異なる主任、その間で奮闘する課長の三者を描き、パワハラにならない指導のあり方を解説します。
143	私が私らしくあるために 職場のコミュニケーションと人権 ㊦平成22年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	26	H22	主人公はかつてこの会社の正社員でしたが、契約社員として職場復帰。職場は忙しさのあまりバラバラになっていきますが、主人公の助言をヒントに一人ひとりが課題に気づき、次第にまとまっていきます。
142	部落の心を伝えたいシリーズ 人権感覚をみがきませ んか 大湾 昇	30	H22	沖縄県出身の父と部落出身の母の下、徳島県で生まれ育った大湾さん。心理テストや自筆のマンガを使ったユニークでユーモラスな講演で人権問題を分かり易く説いています。

141	近くて遠い、遠くて近い 貧困問題 自分とつなげて 考えてみました	36	H22	2009年10月、厚生労働省が発表した日本の相対貧困率は15.7%。およそ六人に一人が、一定水準に満たない所得で生活しています。「貧困」はどこか遠いところで起きている問題なのではないでしょうか。大学生が中心となったビデオ制作プロジェクトのメンバーとともに、大学や街頭などでのインタビューをとおして「貧困」と私たちとのつながりを探ります。
136	今日もよか天気たい	35	H21	視聴覚障がいのある一人の女性をとおして、周りの人が「人権」の大切さに気づいていく物語です。
135	人権を考える 女性と子どもと母親	30	H21	キャリアを積んで働く女性と、幼い子どもをもつ母親が同和問題に直面し、悩みながら、日々の生活の中から誤った知識や偏見が有ることに気づき、同和問題をはじめ、女性差別・在日外国人差別など、人権問題を学び、差別解消に向かって行動していきます。
134	【アニメ】 鬼の子とゆきうさぎ	22	H21	鬼の子と人間の女の子ユキとの不思議な友情の中から、私たちが忘れていた、やさしさや、おもいやりの心、家族のぬくもりが、あたたかい感動として伝わってくる作品です。
133	【アニメ】 日本昔話 三ねん寝太郎	40	H21	3年寝てばかりいた若者が、水のとぼしい村に幾山も越えた湖から水を引く決意をします。はじめは誰もが眺めるばかりでしたが、やがて一人二人と手伝い、ついには村中の人たちが総出で水路を切り開きます。
132	こころに咲く花	35	H20	学校や地域でのいじめ、職場でのパワハラ・セクハラが人権侵害として、大きな社会問題になっています。私たち一人ひとりが、自らの内面に潜む「いじめの心」を克服し、誰もが幸せに生きる社会づくりを考えていきます。
131	浅間の見える村で		H20	主人公の中学校新任教師が直接的な差別事件をとおして、解放子ども会の子どもたちや部落出身の青年と接するなかで自己変革していきます。
130	ケータイ・パソコン その使い方で大丈夫？ 平成21年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	22	H20	インターネットを介した犯罪やいじめは、年々エスカレートして後を絶ちません。「学校裏サイト」問題も顕在化し、ネットにおける「ルールとマナー」の確立が叫ばれています。トラブルに遭わないため、また遭った時の対応策について考えます。

129	老いを生きる 今日も何処かで高齢者の サインが！ ♪平成19年度教育映像祭 優秀作品賞受賞	35	H19	誰もが通らなければならない老いの問題を自分のこととして捉え、日常生活の中で高齢者に対する優しさや思いやりを考えていきます。
125	【アニメ】 桃色のクレヨン ♪映文連アワード2007 優秀企画賞受賞	28	H19	8年ぶりに外国から帰ってきたいとこの知的障がいを隠すためについた嘘がばれて、仲間外れにされる主人公が、いところが探している桃色のクレヨンをとおして大切なことに気づいていきます。
124	【アニメ】 未来への虹 僕のおじさんはハンセン病 ♪平成17年度教育映像祭 最優秀作品賞受賞	30	H18	初めて会う叔父の容姿に驚き戸惑う主人公。叔父は主人公にハンセン病にかかった人達が、病気が治った後も隔離され続け、差別され続けてきた事を話し始めます。
119	英ちゃん 70年目の修学旅行	42	H18	70年前の修学旅行での被差別体験。主人公はそれ以来訪れることのなかった故郷に降り立ち、大切なものを取り戻す営みを始めます。

1	本当にやる！できる！必ずやる！アイスランドの女性の休日	絵本	R 7	1975年10月24日、アイスランドの女性の90%が家庭と職場での仕事を放棄した。 「女性の休日」と呼ばれる一斉ストライキに参加した日のことを母が娘に語り伝え、ユーモアを交えて軽やかに描き出す。
2	こんな上司と働きたいわけでした！	漫画	R 7	異動してきた部署には鬼と噂されるブラック部長…でも実態は家庭にフルコミットしているホワイト上司だった。そんなコワモテ部長と部下たちが織りなすワークライフバランスコメディ。「会社育児あるある」に共感必至！みんなで楽しくLet's働き方改革！

3	寝た子なんているの？ 見えづらい部落差別と 私の日常	本	R 6	「部落差別はもうない。〈寝た子を起こすな〉」と言われがちな日本社会。東京生まれの部落ルーツ、シングルマザーの著者は子どもやママ友に〈部落〉をどう伝える？かつてない部落ルーツエッセイの誕生！
---	----------------------------------	---	-----	--